標準コード・マスタ案及び標準コード・マスタ案を用いた交換規約・インターフェース案の整備並びに管理・運用の在り方に関する検証等事業一式
6/22 プロジェクトキックオフ会議

MEDIS
公開版

（注：一部を除き、個人名、役職名はマスキングしています）

目次

①プロジェクト実施体制

②本事業の全体スケジュール

③本事業の目的と到達目標の考え方

④技術作業班の構成、各部会の構成人員数

⑤会議体、コミュニケーション方法

出席予定者

■発注者・受託者

発注/受託	参加形態	所属・団体	出席者（敬称略）
発注者	対面	厚生労働省医政局 医療情報担当参事官室	○○、○○、○○、○○、○○
受託者	対面	一般財団法人医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)	山本、大江、吉田
	オンライン		鈴木
	対面	アクセンチュア(再委託事業者)	○○

■関係者

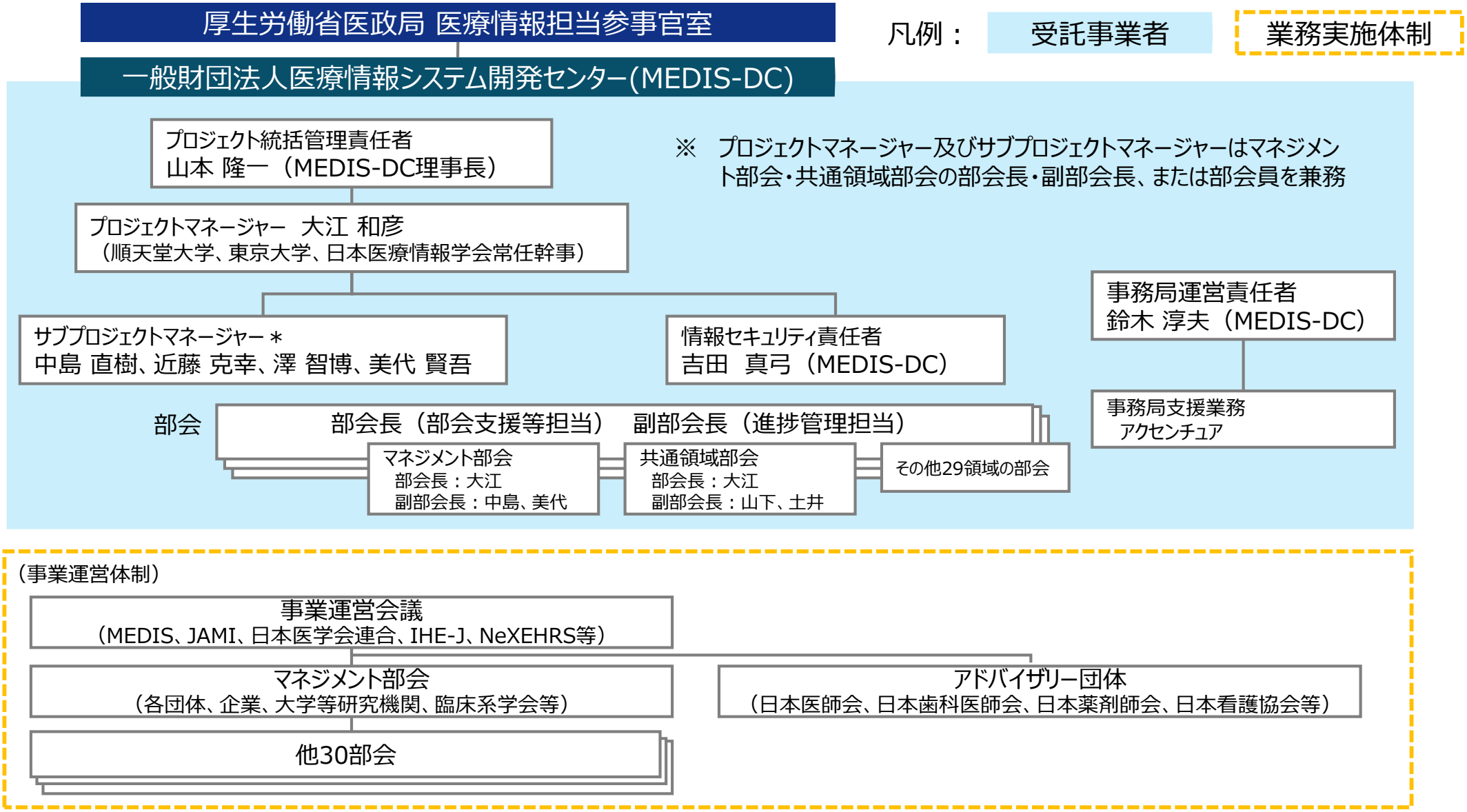
参加形態	所属・団体	役職	出席者（敬称略）
オンライン	日本医学会連合	●●●●●	○○○○
オンライン	日本医療情報学会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本医療情報学会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本医師会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本薬剤師会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本薬剤師会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本薬剤師会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本薬剤師会	●●●●●	○○○○
オンライン	日本歯科医師会	—	※事務局傍聴
オンライン	日本看護協会	●●●●●	○○○○

※本資料は、2026年6月22日に開催した会議の資料について、ホームページへの掲載に当たり、一部の情報を2026年11月5日時点の内容に更新したものです。
このため、会議当日に使用した資料とは一部異なります。

①プロジェクト実施体制

MEDIS
公開版

MEDIS-DCが事業全体を統括し、マネジメント部会および30の領域部会から構成される31部会を立ち上げ、関係団体等と連携しながら、標準コード・マスタおよび交換規約・インターフェース案の整備を着実に推進する。

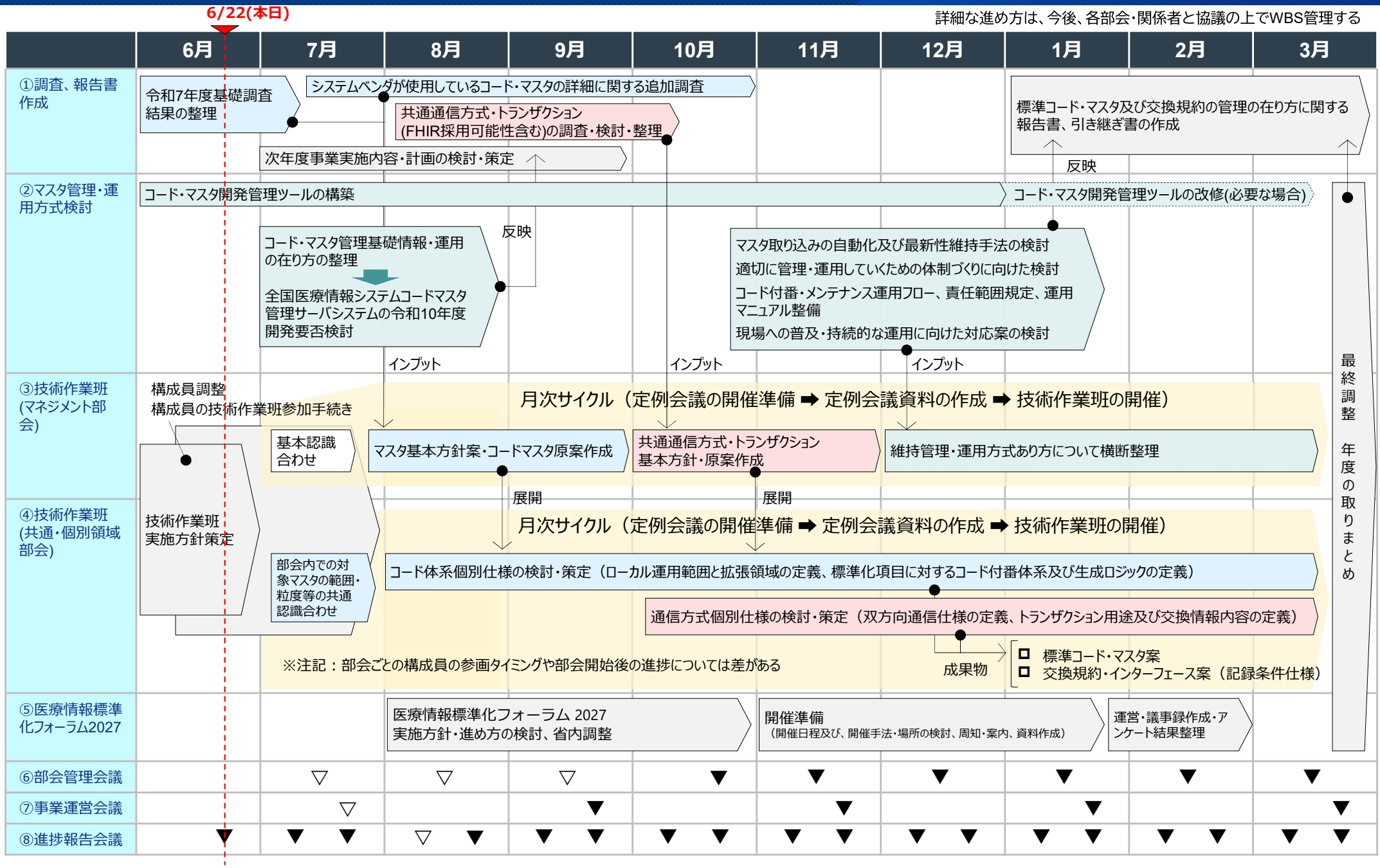


＊サブプロジェクトマネージャー：中島直樹（九州大）、近藤克幸（元秋田大）、澤 智博（帝京大）、美代賢吾（東京大）は、いずれも日本医療情報学会理事または元理事。

②本事業の全体スケジュール

MEDIS
公開版

詳細な進め方は、今後、各部会・関係者と協議の上でWBS管理する



③本事業の目的と到達目標の考え方

MEDIS
公開版

本事業では、各領域における標準コード・マスタおよびインターフェース仕様の整備状況に応じて到達目標を段階的に設定し、令和8年度は現実的な成果物の具体化、令和9年度は全領域での仕様確定を目指す。

本事業の目的

各医療機関の病院情報システム（電子カルテや部門情報システムなど）において共通的に用いることができる
- **ロ コード・マスタ**（以下「標準コード・マスタ」という）
- **ロ 標準コード・マスタを用いたデータのやり取りの仕様やルール**
- **ロ これらの適切で効率的な管理・運用の在り方**

について整理するものとする。

到達目標の考え方

技術作業部会の到達目標による分類

部会分類(対象数)	分類の考え方（一部例外あり）	到達目標 令和8年度	到達目標 令和9年度	
グループ1 10部会	検討のベースとなる既存の標準コード・マスタ等があり、一定程度実装されている領域等	A	A	**令和８年度：** 可能な範囲でマスタ・IFの確定まで実施。 **令和９年度：** 令和８年度にマスタ・IF確定まで行えなかった範囲のマスタ・IFの確定を行う。併せて、令和8年度に策定したマスタ・IF等の継続的な検証を実施する。
グループ2 9部会	検討のベースとなる既存の標準コード・マスタ等がある、または検討されている領域等	B	A	**令和８年度：** 使用されているコード、マスタ、IF等の調査、マスタ案、IF案の作成を行う。 **令和９年度：** マスタ確定、IF確定まで行う。
グループ3 11部会	上記以外の領域	C	A	**令和８年度：** 使用されているコード、マスタ、IF等の調査。 **令和９年度：** マスタ案、IF案の策定を開始し確定まで行う。

到達目標分類

到達目標	
到達目標A	対象領域のマスタ、及び電子カルテ－部門システム間インターフェース仕様を検証、精緻化し、確定する。
到達目標B	対象領域のマスタ案の作成、及び電子カルテ－部門システム間インターフェース仕様案の作成を行う。
到達目標C	対象領域のマスタ、及び電子カルテ－部門システム間インターフェース仕様の調査、作成方針を策定し、次年度以降の策定に必要なデータ収集を行う。

④部会の構成、各部会の構成人員数

MEDIS
公開版

本事業では、マネジメント部会を設置し、各部会に共通する検討方針、進捗・課題管理、成果物の整合性を横断的に担保する。その上で、30の領域別部会が関係学会・団体・ベンダ等の専門知見を踏まえ、各領域の標準コード・マスタおよびインターフェース仕様の具体化を進める。

#	部会名称	関連学会等	役割	部会分類グループ
0	マネジメント部会	日本医療情報学会	全部会共通の作業方針や標準フォーマットの作成、各部会の担当領域、進捗確認、部会横断・共通の課題の整理、各領域部会での原案の作成	—
1	共通領域部会	日本医療情報学会	部門横断的な共通領域やシステム（電子カルテシステム、DPC関連システム、院内がん登録システム、二次利用（データ出力）システム）、他部会がカバーできない領域やシステムでの業務	1

#	部会名称	関連学会等	部会分類グループ
2	検体検査部会	• 日本内科学会 • 日本臨床検査医学会 • 日本衛生検査所協会 • 日本医療情報学会	1
3	病理診断部会	• 日本病理学会 • IHE―J	3
4	細菌検査部会	• 日本臨床検査医学会	1
5	輸血管理部会	• 日本輸血・細胞治療学会	1
6	生体検査部会	• 日本臨床検査医学会 • 日本呼吸器学会 • 日本医療情報学会	1
7	内視鏡検査部会	• 日本消化器内視鏡学会 • 日本呼吸器内視鏡学会 • 日本医療情報学会	2
8	放射線治療部会	• 日本核医学会 • 日本放射線腫瘍学会 • IHE―J • 日本医療情報学会	3
9	画像検査・画像管理部会	• 日本医学放射線学会 • 日本放射線技術学会 • 日本画像医療システム工業会 • 日本医療情報学会	2
10	栄養管理部会	• 日本病態栄養学会 • 日本栄養治療学会	2
11	リハビリテーション部会	• 日本リハビリテーション医学会 • 日本医療情報学会	2
12	健診部会	• 日本公衆衛生学会 • 日本医師会総合政策研究機構 • 日本医療情報学会	1
13	手術・麻酔部会	• 日本麻酔科学会 • 日本内視鏡外科学会 • 日本医療情報学会	3
14	重症・救急部会	• 日本救急医学会 • 日本集中治療医学会	3
15	透析部会	• 日本透析医学会	2

#	部会名称	関連学会等	部会分類グループ
16	薬剤部会	• 日本医療情報学会	1
17	外来（医事会計・医事関連）部会	• 日本医療情報学会	1
18	文書作成・文書管理部会	• 日本医療情報学会	1
19	院外連携（紹介状・地域連携）部会	• 日本医療情報学会	2
20	産科・周産期部会	• 日本産科婦人科学会 • 日本周産期・新生児医学会	3
21	眼科部会	• 日本眼科学会	3
22	耳鼻咽喉科部会	• 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 • 日本医療情報学会	3
23	歯科部会	• 日本口腔科学会 • 日本医療情報学会	2
24	看護・病棟運用部会	• 日本看護協会 • 日本医療情報学会	1
25	物流・医療器材機器管理部会	• 日本医療機器学会 • 日本医療情報学会	3
26	治験・臨床試験部会		3
27	がん化学療法レジメン部会	• 日本癌治療学会 • 日本臨床腫瘍薬学会 • 日本臨床腫瘍学会 • 日本医療情報学会	3
28	データ移行仕様部会		2
29	データエクスポート仕様部会		2
30	プロジェクタソン計画部会	• IHE―J	3

各部会の構成人員数

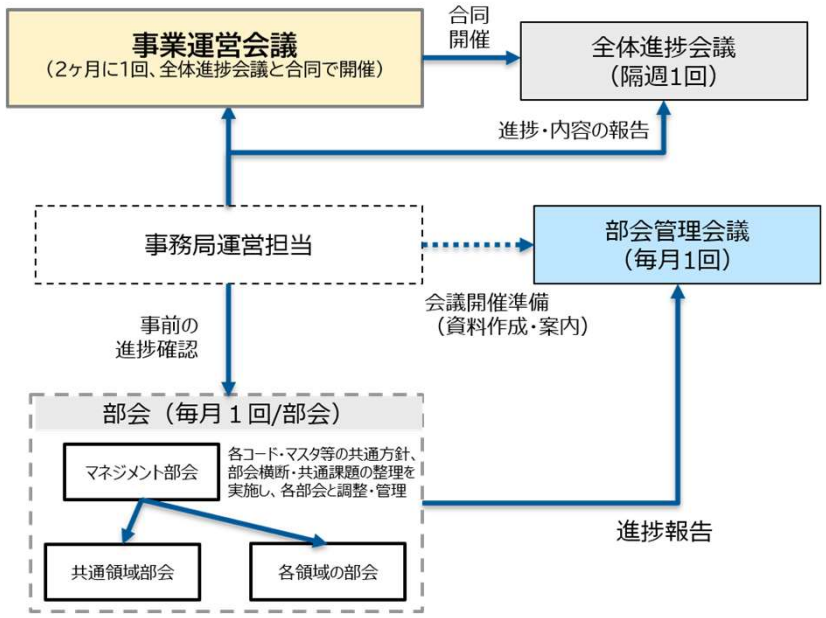
部会長	1名
副部会長	1名（マネジメント部会、共通領域部会は2名）
担当する学会・団体	数名
関連ベンダー	数名
マネジメント部会構成員	1名以上
事務局（委託含む）	1名以上

⑤会議体、コミュニケーション方法

MEDIS
公開版

本事業では、目的に応じた会議体を階層的に設計し、全体方針の決定、部会全体の進捗管理、領域別の専門検討、貴省への報告・相談を適切に分担する。あわせて、MEDIS-DC側で本事業専用のTeams環境を整備し、関係者間の情報共有・資料管理・コミュニケーションを一元的に行う。

会議体の構成



会議体	位置づけ	開催頻度	開催方法	参加者				備考
				厚生労働省	PM/サブPM/事務局	部会長/副部会長	その他構成員	
事業運営会議	事業全体の運営方針の決定、事業進捗状況の対外的な説明	隔月開催	オンライン開催	要参加	要参加	—	—	JAMI、日本医学会連合、IHE-J、NeXEHRS等の関係組織も参加。
部会管理会議	作業班全体の進捗状況共有、課題整理	毎月開催	オンライン開催	要参加	要参加	要参加	—	—
部会（マネジメント部会）	全体の方針整理や共通課題の検討	毎月開催	オンライン開催	要参加	要参加	要参加	要参加	—
部会（共通/個別領域部会）	各領域のマスタ及び交換規約、インターフェース案等の策定	毎月開催	オンライン開催	要参加（任意）	要参加	要参加	要参加	—
進捗報告会議	各部会の進捗、課題及び課題に対する対応方針案を厚生労働省に報告	隔週開催	オンライン開催 or 対面開催	要参加	要参加	—	—	—

コミュニケーション方法

・本事業専用のMicrosoft Teamsのテナント(環境)をMEDIS-DC側で立ち上げ、本事業に係るコミュニケーションおよび情報管理を行う。
・確定した資料については適宜厚生労働省Teamsにも格納し、報告を行う。
・ただし、部会に関する構成員への案内や問い合わせ受付等については、メールによる連絡も併せて行う。